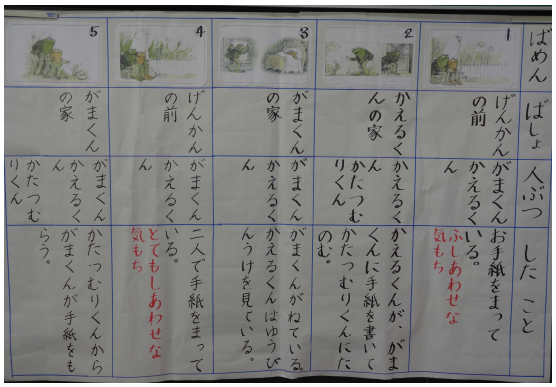
２年　国語科研究授業のまとめ（６月２２日）

１　単元名および単元の目標

お手紙（１０／１３　本時）

◎　人物がしたことやそのときの様子に気を付けて物語を読むことができる。



ばめん	ばしょ	人ぶつ	したこと
1	げんかんの前	がまくん かえるくん	お手紙をまっている。 ふしあわせな気もち
2	かえるくんの家	かえるくん かたつむりくん	かえるくんが、がまくんに手紙を書いてかたつむりくんにたのむ。
3	がまくんの家	がまくん かえるくん	がまくんがまくんがねている。 かえるくんはゆうびんうけを見ている。
4	げんかんの前	がまくん かえるくん	がまくんが二人で手紙をまっている。 とてもしあわせな気もち
5	がまくんの家	がまくん かえるくん かたつむりくん	かたつむりくんからがまくんが手紙をもらう。

（資料１　場面ごとの掲示物）

２　本研究授業の提案について

人物がしたことやそのときの様子に気付かせたり想像を広げさせたりするために，以下の二つを提案した。

(１)ワークシートを活用し，人物のしたことや気持ちを書くことに継続的に取り組ませることで自分の考えを持たせるようにした。さらに場面ごとにまとめた掲示物を教室内に掲示し，学びの履歴を確認することができるよう配慮した。（資料１参照）

児童は回数を重ねるごとに，したことや様子を表す文章に気づくことができるようになり，場面ごとに書き出し，自分と登場人物を重ねて気持ちを書くことができるようになった。また，前時のワークシートを活用して学習することで内容について深めることができた。以上のことから，ワークシートを活用し，場面ごとに整理して児童に提示することは有効であった。

(２)グループ学習で互いの考えを発表し合い，その後，全体の前で発表する学習場面を設けた。意図的に組ませたグループでは，司会の児童を中心にワークシートを見せ合いながら自分の考えを発表することができた。３人グループで少人数であったため，発表が苦手の児童も緊張せずに発表できていた。その後の全体発表では，気持ちをよく想像している児童に発表させたが，「初めて手紙がきてうれしい。」，「かえるくんありがとう。」，「がまくんが喜んでくれてよかった。」という点を取り上げた。下位の児童には同じところに気付くことができてよかったが，いろいろな考えがあったので全体で取り上げていく必要があった。課題としては同じところを見付けただけでは交流を通して考えが深まったとはいえなかった。

３　本研究授業の授業技術課題について

分かりやすい発問や指示を行い，学習の見通しを持たせたかったが，ねらいと評価の一体化が大切であり,ねらいに即した主発問の吟味が本授業では十分でないところがあった。また，自分の考えについて，事柄の順序を考えながら話せるようにするための手立てを掲示物やワークシートで行ったが，意識しにくかった。３人の登場人物を一度に伝えたところがあり，登場人物ごとに整理して発表させるとよかった。同じところだけでなく，違うところにも目を向けて，広め合うことができればよかった。

４　次回の研究授業へ向けて

以上の点をふまえ，次回の授業研究では以下の点を意識した授業展開を考えたい。

・ねらいに即した主発問の吟味とその成果の見取りの仕方。

・丁寧に意見をひろっていくことで，自分以外の考えに気付かせ，交流を通して読みを深めさせる授業展開の工夫。